

37. 神経難病の在宅終末期ケアへの取り組み－実際と課題－
○難波玲子、加治谷悠紀子、大上三恵子
神経内科クリニックなんば
38. 筋萎縮性側索硬化症診療に於ける神経内科診療所の役割と問題点
○堀川 楊¹、大西洋司²、永井博子³、遠藤耕太郎⁴
¹医療法人朋有会 堀川内科・神経内科医院、²大西医院、³押木内科神経内科医院、⁴けやき通りクリニック
39. 神経難病に特化した特殊疾患療養病棟の運用－レスパイトケアを目的としたショートステイ－
○美原 盤¹、富田 裕¹、永島隆秀¹、高橋陽子²、栗原真弓²、河端裕美²、相澤勝健³
¹美原記念病院神経内科、²美原記念病院看護部、³美原記念病院医療相談室

12:36～13:36

昼 食

13:36～14:46 看護ケア

座 長: 牛込三和子(群馬大学)・近藤清彦(公立八鹿病院)

40. 神経難病における、地域ケアシステムおよび療養環境の評価方法の構築に関する研究
－評価の必要性とその構造に関する検討－
○川村佐和子¹、原田光子²、牛込三和子³、小倉朗子⁴、近藤紀子⁵
¹青森県立保健大学、²青森県立保健大学、³群馬大学
⁴(財)東京都医学研究機構東京都神経科学総合研究所、⁵日本赤十字武蔵野短期大学
41. 神経難病における、地域ケアシステムおよび療養環境の評価方法の構築に関する研究
－地域ケアアセスメントの指標に関する検討－
小倉朗子¹、○小西かおる¹、川村佐和子²、牛込三和子³、近藤紀子⁴
¹(財)東京都医学研究機構東京都神経科学総合研究所、²青森県立保健大学
³群馬大学、⁴日本赤十字武蔵野短期大学
42. 神経難病における、地域ケアシステムおよび療養環境の評価方法の構築に関する研究
－療養環境アセスメントの枠組みに関する検討－
○牛込三和子¹、牛久保美津子¹、佐々木馨子¹、川村佐和子²、小倉朗子³、近藤紀子⁴
¹群馬大学、²青森県立保健大学、³(財)東京都医学研究機構東京都神経科学総合研究所
⁴日本赤十字武蔵野短期大学
43. 筋萎縮性側索硬化症患者の在宅ケアに携わる訪問看護師のわざ 第2報
－患者・家族にとって訪問看護師が行うケアの意味－
近藤清彦¹、○山本かよ²
¹公立八鹿病院 神経内科、²神戸市看護大学看護学部看護学科
44. 医療依存度の高い療養者を受け入れるデイサービス体制の構築
○藤田美江 北里大学看護学部

14:46～16:10 End of life care

座 長: 今井尚志(独立行政法人国立病院機構宮城病院)・中島 孝(独立行政法人国立病院機構新潟病院)

45. ALS等神経難病の緩和ケア・終末期医療に関する調査(緩和ケア施設A会員対象)
○石上節子¹、小原るみ¹、遠藤慶子¹、大里るり¹、伊藤道哉²、根本良子³、菊地史子³
中島 孝⁴、今井尚志⁵、葛原茂樹⁶
¹東北大学病院看護部、²東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野
³東北大学保健学科看護学専攻、⁴独立行政法人国立病院機構新潟病院
⁵独立行政法人国立病院機構宮城病院、⁶三重大学医学部神経内科
46. ALS終末期における緩和ケアについて－当院におけるオピオイド等の使用経験－
荻野美恵子¹、○飯ヶ谷美峰¹、由井進太郎¹、荻野 裕¹、坂井文彦¹、的場元弘²、大西秀樹³
¹北里大学医学部神経内科学、²北里大学医学部麻酔科学、³神奈川県立がんセンター精神科
47. 法律文献調査に基づく、終末期ガイドラインへの示唆
○稲葉一人¹、横山織江²
¹科学技術文明研究所、²三菱化学安全科学研究所

48. 尊厳死と自己決定権
○西澤正豊
新潟大学脳研究所神経内科
49. 神経難病患者へのスピリチュアルケア —第1報—
○今井尚志¹、吉岡 勝²、大隅悦子²、島貫直子²、川内裕子²、栗原久美子³
¹独立行政法人国立病院機構宮城病院、²独立行政法人国立病院機構西多賀病院
³宮城県神経難病医療連絡協議会
50. 重度ALS患者のケアマネジメント事例の検討
○豊浦保子^{1,2}、水町真知子^{1,2}、小林智子¹
¹エンパワーケアプラン研究所、²日本ALS協会近畿ブロック

16:10～16:20

閉会の辞(まとめ)

班長 中島 孝

第 2 回
神経難病における音楽療法を考える会

プログラム・抄録集

<日 時>

平成17年6月10日（金）

<場 所>

鳥羽市民文化会館

<共 催>

「神経難病における音楽療法を考える会」

代表世話人 近藤 清彦

厚生労働省「特定疾患患者の生活の質（QOL）の向上に関する研究」班

班長 中島 孝

<後 援>

日本神経治療学会

◇◆◇◆◇◆◇◆◇ プ ロ グ ラ ム ◇◆◇◆◇◆◇◆◇

17:10~17:25	演奏
開会および主催者あいさつ	
17:30~17:35	開会あいさつ 独立行政法人国立病院機構新潟病院副院長 中島 孝
17:35~17:40	「音楽療法に期待するもの」 公立八鹿病院神経内科 近藤 清彦
特別講演 座長 北海道医療大学教授 田代 邦雄	
17:45~18:45	「歌うとなぜ「心と脳」にいいか？」 京都大学名誉教授 大島 清
演題 座長 脳血管研究所附属美原記念病院院長 美原 盤	
18:50~18:58	1)東北大学病院音楽療法室の試み 東北大学病院 音楽療法室 室長 市江 雅芳
19:02~19:10	2)本町クリニックでの音楽療法 本町クリニック ○服部優子、 音楽療法士 小川尚子、加藤美砂
19:14~19:22	3)矢津クリニックにおける神経難病患者に対する在宅音楽療法について 医療法人矢津内科消化器科クリニック ○認定音楽療法士 永野裕見子、 院長 矢津 剛
19:26~19:34	4)音楽療法を利用した神経難病ボランティア育成の試み 国立病院機構新潟病院 ○医療社会事業専門員 三浦修、 看護師長 岩崎文子、看護副師長 桑原和子、 コーディネーター 小黒須美子、副院長 中島孝
19:38~19:46	5)患者と家族から音楽療法に期待すること 日本 ALS 協会東京支部、NPO 法人さくら会理事 川口 有美子
19:55	閉会のあいさつ

「特定疾患患者の生活の質（Quality of life,QOL）の向上に関する研究」
研究報告会インターネット中継のお知らせ

日時：2006年1月8日（日）9:00～17:29

1月9日（月）9:00～16:20（予定）

.....
当日会場においでになれない方のために、研究報告会をインターネット上で公開生放送致します。

- この放送は Realplayer というソフトウェアを使用して見ることができます。
無料体験版としても提供されておりますのでダウンロードして下さい。
当日の中継は下記サイトにアクセスしてください。（変更する場合があります）

<http://www.niigata-nh.go.jp/nanbyou/annai/index.htm>

この研究班では研究のテーマの一つとして「情報ネットワークを利用した難病のQOL向上」を目指しております。この情報をお知り合いの方（研究者のみならず、患者さんや家族を含め）にもこのページを是非お知らせ下さい。

平成17年度厚生労働省難治性疾患克服研究事業
「特定疾患患者の生活の質（Quality of life,QOL）
の向上に関する研究班」（主任研究者：中島 孝）

厚生労働科学研究費補助金
厚生労働省難治性疾患克服研究事業
特定疾患患者の生活の質 (Quality of life, QOL) の向上に関する研究
総括・分担研究報告書
平成 18 年 3 月

主任研究者 中島 孝 独立行政法人国立病院機構新潟病院
TEL : 0257(22)-2126 (代)
FAX : 0257(22)-2380
e-mail : nakajima@niigata-nh.go.jp
〒945-8585 新潟県柏崎市赤坂町 3 番 52 号

印刷 深堀印刷
新潟県上越市中央 2 丁目 9-14
TEL(025)543-2041 (代)
